

ふれあい



迎春

2020
January

東武伊勢崎線利根川橋梁日の出(羽生市)

— Contents —

- 新春のご挨拶
- 病院祭 開催報告
羽生総合病院・皆野病院
- みんなのレシピ
『乳和食のすすめ』



理事長 福島安義

新年あけましておめでとうございます。オリンピックの年の幕開けですが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。お伺い申し上げます。

さて今年、新築移転後3年目になります。羽生総合病院では、新たに回復期リハビリ棟や地域包括ケア病棟の開設ができるように準備にかけます。急性期から慢性期、そして終末期までのあらゆる医療に対応すべく、準備を進めてまいります。そして、皆野病院は、開院20年を迎えて、常勤の医師を充実させて、次の10年に向けてのステップの年にしたいと思います。介護老人保健施設、あいの郷は、昨年来手掛けてきましたリニューアル工事を完成させて、グループホーム須影ほのぼのホームや、羽生訪問看護ステーションとともに、高齢化が進んでゆく地域のニーズに対応してゆきます。

そして、3つのクリニックは、それぞれに今後の方向性を考える年になると思います。また、埼玉医療生活協本部を独立させ、機能を充実させてゆきます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。



副理事長 篠崎伸明

明けましておめでとうございます。この度、埼玉医療生活協同組合副理事長を拝命致しました。よろしくお願ひ致します。

私は中学、高校時代を埼玉で過ごし、現在も両親は上尾市に住んでおります。1980年大学卒業後、湘南への憧れから、すぐに茅ヶ崎徳洲会病院に研修医として入職しました。当時鈴木先生(現徳洲会理事長、故門田先生に敵しい外科指導を受けました。また羽生病院の創生期、盛岡院長、天願副院長の時にしばらくお手伝いに来たことを思い出します。その後、湘南鎌倉病院の開院、大阪の松原徳洲会病院の新築移転、湘南厚木病院の開院と、転動しながら臨床のみならず病院経営に携わるようになり、湘南藤沢徳洲会病院を経て、現在、湘南鎌倉総合病院で勤務しております。

「命だけは平等だ」救急は断らない」という創業の理念、方針が大世帯になった徳洲会グループを維持しているものと信じています。IT化、ロボット技術の進歩の中で、確実に私たちは高齢化しており、人としての肌の温もりをより大切につけていきたいと思えます。



専務理事 畑中一志

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。元号が「令和」に変わり新しい時代の幕開けとなつて初めてのお正月を迎えました。

今年、埼玉医療生活協同組合創立39年目となります。創立以来いろいろな制度の改革に採られながら、一貫して地域の医療と福祉・介護の事業を中心に発展を遂げてまいりました。これも偏に組合員の皆様、地域の皆様、自治体のご理解ご協力と医療・介護の専門職員が全力で取り組んだ結果でございます。心からお礼申し上げます。

私たちの組合は、間もなく創立40周年を迎えることとなりますが、この2020年の節目にこの組合の行く末をしっかりと見据えて、医療や福祉介護の事業に取り組んでまいります。経営基盤の確保、新規事業の取組み、医師、医療・介護専門職の確保など、種々の課題が山積しております。総代、役員がワンチームとなつて一つひとつの課題の解決をはかりながら、組合員、地域の皆様が医療、介護を通じて安心して生活できるように初心にかえつて、人と人の輪を大きく広げる年にしましょう。



常務理事 中川和喜

新年明けましておめでとうございます。昨年5月に年号が変わり、組合員の皆様と令和初正月を迎えられましたことを嬉しく思います。

反面アフガニスタンでテロの犠牲になり、無言の帰国をした中村哲医師。彼は福岡徳洲会病院でも働いていました。パキスタン北西のペシャワールで長年にわたりハンセン病治療活動を続けていましたが、異国の銃弾で命を奪われた無念さを思うと、やりきれない怒りで拳が震えました。

長く生きていると、これまでの数え切れない出会いが支えになり、刺激になって自分が歩いてくることのできたと思うようになりました。組合員の皆さんの協力支援あつての生協です。心より感謝しています。

今年、オリンピック東京開催です。今の日本のアスリートは、メダルに手が届く選手が多いので本当に楽しみにしています。組合員皆様の令和2年が「福徳円満」であるようお願いいたします。本年もよろしくお願ひいたします。



はにゅうそうごうびょういん **羽生総合病院** **病院祭** **開催報告** 第35回ふれあひ祭り



ちびっ子エリアが大盛況

令和元年11月10日、第35回ふれあひ祭りを開催しました。今年のテーマは「祝令和 つなげよう地域との絆」とし、天候にも恵まれ、多くの方々にも足を運んでいただきました。

ステージでは、羽生西中吹奏楽部やプロによるピアノとヴァイオリン演奏など、さまざまなプログラムが8つの団体様より披露され、会場からは大きな拍手が送られました。

模擬店では、羽生市商工会様から9店舗の参加をいただき、当院からは定番の焼きそばや焼き鳥などの他、血管年齢や骨密度の測定、介護用品の展示や体験といった、病院の特徴を生かしたブースも大行列ができました。

また、今年はいよいよ一層、地域の子供たちに楽しんでいただきたいと、今年度新入職員が中心となって準備・運営を行い、S・L乗車体験やバルーン遊具など、ちびっ子エリアを設けました。昼過ぎに用意したお菓子が足りなくなり、急遽買い足すほどの大盛況となりました。

ステージイベント及び模擬店も過去最大数となり、羽生市長や県、市議会議員様にもご来賓いただき、盛大なふれあひ祭りとなりました。



ふれあひ祭 実行委員長 山田 正敏





健康チェック



正コ一体験に興味津々の子ども達

みな の びょういん
皆野病院

病 院 祭

開催報告
第19回皆野病院健康祭



地元ラジオ局の中継取材も

先日11月17日に第19回皆野病院健康祭を開催しました。

快晴に恵まれた当日は三演目の医療講演、無料健康チェック・手洗いチェックや、屋外模擬店にたくさんのお客様にお越しいただきました。折り良く10月に開局したばかりの地元ラジオ局「ちちぶFM」から中継取材が入り、皆野病院を外部にアピール出来る良い機会もいただきました。

さらに徳洲会グループ武蔵野徳洲苑石川一郎顧問をお招きしての歌謡ショーや近隣高校音楽部の皆さんによる合唱の披露等、今後も一層系列施設や地域との繋がりを深めていけたら大変嬉しく思います。

今回は、記念すべき20回目の病院祭となります。この地域の方々との繋がりを大事にし、来年・再来年と健康祭がますます盛り上がりそうです。職員一同日々の業務に精進して参りたいと思えます。



皆野病院祭実行委員長 齋藤 祐季 (写真中央)



事故やけがもなく、無事に終わることができました。ご協力頂いたすべての皆様へ深く感謝します。



常務理事 松本裕史

明けましておめでとうございます。

羽生総合病院移転から2回目の新年を迎えました。新しく備えた放射線治療装置は順調に稼働、昨年末からは心臓手術も実施され、またハイケア病室では以前より重症な方を、緩和ケア病棟では、がんセンター等で治療が難しくなったがん患者さんを受け入れることが可能になりました。今後より幅広く、質の高い医療を提供できるように努力します。

さて埼玉医療生協も創立39年を迎えます。羽生病院設立時、徳洲会では認可をもらえず作られた生協です。当時、一口五千万円の出資金を拠出した組合員には改めて敬意を表します。ただ三億円にも満たない資金での設立は不可能で、徳田虎雄前理事長が個人保証で数十億円を借り入れて開院にこぎつけ、その後多数回訪れた存続の危機を徳洲会グループの支援で乗り切り、新病院開院に繋がった訳ですが、ここでも借入金百億円の債務保証は徳洲会がしています。この間に社会環境は変化し医療機関も淘汰される時代です。未来に向け、今まで以上の医療を安定して地域に提供する為に、組合の存在意義を考え直す時に来ているのかも知れません。



常務理事 若山昌彦

新年あけましておめでとうございます。

皆様にとって良い年であることをお祈り申し上げます。厳しい寒さが続いています。お身体には十分お気をつけください。

昨年は元号が令和に改まりました。それまで元号を使っても深く考えることはありませんでしたが、いつから日本に元号があるのか、私達が元号を使う意義は何か、元号がなければ「昭和の頃は「明治時代の人は」と言えずどうしていたのかなど、考える機会になりました。変化の激しい情勢の中、新たな時代が始まった今だからこそ、自らを見つめるべき時ではないでしょうか。私達の習慣や制度、共同体や組織、所有物や建造物、技術や芸術など、それが継続され今あるのはなぜか、よく考えて時代をつくってゆく。安易に捨ててはならないし、しかし表面的なことに固執してもいけない。

それは私達一人ひとりに、また集団にも言えることであると思います。私達が本当に大切にしたいものを守るために、譲り受けたものを未来に譲り渡すことができるように。皆様宜しくお願い申し上げます。

私達と一緒に働きませんか？

今春新年度スタッフを募集しています



羽生総合病院【総務課 ☎ 048-562-3003】

- 医師
- 初期研修医
- 看護師(既卒)
- クラーク(看護助手+看護事務)
- 薬剤師
- 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士
- 救急救命士
- 医療事務
- 介護福祉士
- 運転手(パート)



皆野病院【総務課 ☎ 0494-62-0500】

- 医師
- 看護師・准看護師
- 看護補助
- メディカルクラーク・医療事務
- 介護支援専門員
- 理学療法士・作業療法士
- システムエンジニア
- 運転手(パート)



介護老人保健施設 あいの郷

【☎ 048-562-3100】

- 看護師・准看護師・介護福祉士



須影ほのぼのホーム

【☎ 048-594-7373】

- 介護福祉士・介護職員・ヘルパー



美味しく減塩! /

監修 羽生総合病院管理栄養士 大屋 朋子

～乳和食のすすめ～

乳和食とは、味噌や醤油などの調味料に「コク」や「うま味」のある牛乳を組み合わせることで、食材本来の風味や特徴を損なわずに食塩やだしを減らし、おいしく和食を食べる調理法です。ぜひご家庭でお試し下さい。



減塩味噌汁

材料/1人前
 さつまいも 20g
 にんじん 15g
 たまねぎ 20g
 白菜 20g
 しらたき 15g
 ベーコン 1/2枚
 油 適量
 素材力だし 1g
 味噌 大さじ1/2
 牛乳 大さじ1/2
 水 150ml

野菜はお好きなものをOK!



ポイント 味噌を減らすだけでは物足りない味になりますが、牛乳を加えることでコクのある味噌汁に仕上がります。



←化学調味料と食塩が無添加な「だし」を利用

塩分 1.2g

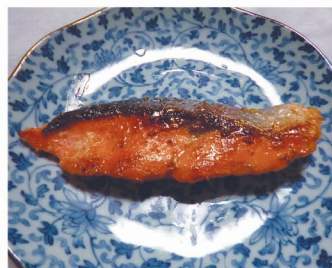
作り方

- 1 牛乳と味噌を混ぜ合わせておく。
- 2 さつまいもとにんじんは、いちょう切り、白菜はざく切り、たまねぎは薄切りに切る。
- 3 鍋に油をひき、さつまいも、にんじん、たまねぎを軽く炒める。
- 4 3に分量の水とだしを入れて野菜がやわらかくなるまで煮る。
- 5 しらたきと白菜を加え、ひと煮立ちする。
- 6 1を加えて火をとめる。

鮭の塩麴焼き

材料/1人前

鮭 1切れ
 塩麴 5g
 牛乳 5ml
 油 適量



ポイント 牛乳に漬け込むことで魚の生臭さがとれ、しっとり焼きあがります。

作り方

- 1 塩麴と牛乳を混ぜ合わせ、鮭を30分程度漬け込む。
- 2 フライパンに油をひき、両面を焼く。

塩分 0.6g

小松菜の辛子和え

材料/1人前

小松菜 50g
 からし 少々
 酢 小さじ1/2
 減塩醤油 小さじ1/2



ポイント 酢やからしを入れることで醤油を減らすことができます。

作り方

- 1 からしと酢、減塩醤油を混ぜ合わせておく。
- 2 小松菜を食べやすい大きさに切り、茹でる。
- 3 1と茹でた小松菜を和える。

塩分 0.3g

～ 埼玉医療生協の理念 ～

- 生命を安心してあずけられる病院
- 健康と生活を守る病院

組織の現況 (11月末現在)

組合員数 53,461人
 出資口数 58,611口
 出資金総額 2億9305万5千円

広報紙ふれあい 78号
 2020年1月22日発行

埼玉医療生活協同組合
 〒348-8505
 埼玉県羽生市大字下岩瀬446番地
 羽生総合病院内 生協本部事務局
 TEL 048-562-3021
 FAX 048-562-5857
 Mail:kumiai@fureaihosp.or.jp
 http://www.fureaihosp.or.jp
 表紙写真:組合員(羽生市)
 小池久夫様 提供

埼玉医療生活協同組合施設一覧

施設名	住所	電話	FAX
羽生総合病院	羽生市下岩瀬446	048-562-3000	048-563-2170
皆野病院	皆野町皆野2031-1	0494-62-6300	0494-62-6010
介護老人保健施設 あいの郷	羽生市桑崎196-1	048-562-3100	048-563-5700
騎西ふれあいクリニック	加須市騎西1352-3	0480-73-6211	0480-73-3638
加須ふれあいクリニック	加須市下三保1790-1	0480-61-8561	0480-63-2561
行田ふれあいクリニック	行田市持田3-15-23	048-555-1155	048-556-8171
羽生訪問看護ステーション	羽生市下岩瀬446	048-562-5031	048-562-5032
羽生市西部地域包括支援センターふれあいの森	羽生市下岩瀬446	048-561-2688	048-561-2688
須影ほのぼのホーム	羽生市下川崎394-1	048-594-7373	048-560-7374
ホームヘルプサービス ふれあい	羽生市下岩瀬446	048-501-7582	048-501-7583